

DOJIN

R18

成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



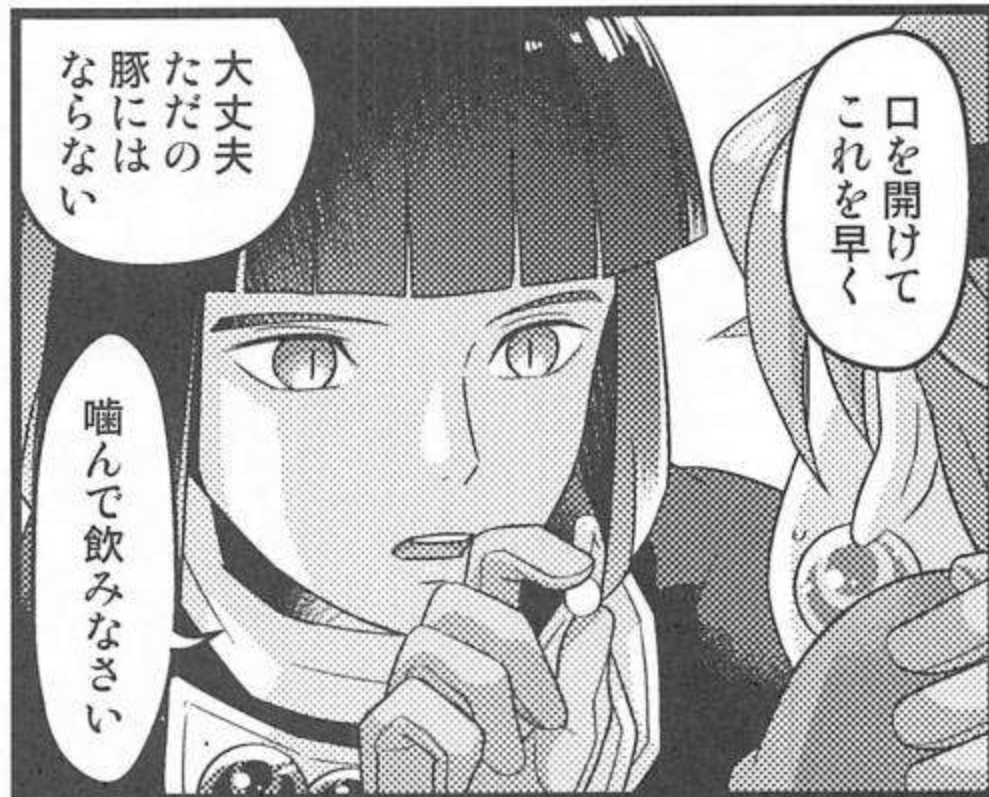
SLAYERS
perfect Level #13
hot soj

SLAYERS
XELLOSS+LINA
FANBOOK #05



リナ=イ●バース 獣神官にNTR(不)完全墮ち (not so) Perfect Love! #3

リナとゼロスの神隠し



前回まで“のあらし”

(not so)パーフェクト・ラブ!シリーズ
①リナ=イ●バース獣神官にNTR快樂墮ち
②リナ=イ●バース獣神官にNTRらぶらぶ墮ち

リナも18歳。もう少女ではなく立派な大人の女だ。しかしいつまで経っても女として扱ってくれない相棒に業を煮やし、疼く身体を自分の指で慰めていた。そんな姿を偶然現れたゼロスに見られ、ファーストキスと処女を奪われてしまう。大量の魔力を膣内射精してくるゼロスとのセックスは、魔道士のリナにとっては理性を崩壊させるほど気持ちよかった。それからというものゼロスは毎晩現れ、ガウリイが隣の部屋にいようがお構いなしで朝まで彼女を抱いていく。ゼロスには自分を利用しようとする魂胆があるに違いない、こんな関係を続けていてはダメだと必死に言い聞かせても、ゼロスとの快樂を拒むことはできないでいた。ずっと密かな恋心を抱いていたガウリイと、身体の相性が最高なゼロス。その間でリナの心は揺れ動く…

■この本はリナside『赤の書』です。

今回のお話の少し前と少し後ゼロス視点から見た補完ストーリー『黒の書』を今秋発行します。

リナが知らないところで何があったのか、『黒の書』で明かされます。そちらも併せてご覧いただけたら嬉しいです。



ではまた
今夜伺います

フッ

キュン

千千

キュン

下口



あたし…
何やってんのよ…

かまね…

キキ

キュン
キュン



はま…
今日も
結局
朝まで…



ゼロス♡

ははは

あ♡
もっと♡♡

なかば無理やり
はじめてを奪われた
あの日から――

ゼロスは毎晩来て
朝までめいっぱい
あたしを抱いてく

それはもう
丹念に執拗に
残酷なまでに丁寧に

グニーン

まるで
お気に入りのオモチャを
壊すまで弄ぶ子供みたいに
無邪気な悪意丸出しで

だいたいいつ…

『どんなあたしでも
受け止める』？

『欲求不満に
させない』？

『一生責任取る』？

ギョッ

…そもそも
魔族のゼロスが
何の企みも
メリットもなく
そんなこと約束
するわけがない

…きつと今回も裏で
あたしを巻き込んだ

何か良からぬ計略が
動いているんだらう

わかってんのよ
ンなこたあつ!

アイツの手の上で
踊らされてるなんて
百も承知なのよっ!

ズリ
ズリ
ズリ

絶対消してやるから

だから
そのたびに
付け直してよ
来なさいよ

は…?



マーキング
所有の証…か

快楽で籠絡して
利用してやろう
なんて
魔族の考えそっ
なことよね



ゼロスめ

まあたこんな
キスマークつけて…



このまま流されて
ズルズル…なんて
あたしらしくないわ

うっ
まふしっ

あたしには
ちゃんとした
人生設計が
あるんだから



おりよ…？

いない…



おはよー
ガウリイ…

……？



もうちっと
大人になったら
フツーに
結婚して

愛する優しい
ダンナさんと
子供いっぱい作って

ト…ト…





今夜は
一緒に部屋に
泊まるか



ぐづっ…なんか
顔合わせづらい…



ガウリイが寝てる
隣の部屋であんな
コトしてるし…



……

でもおれは
おたしの意志
じゃあ…

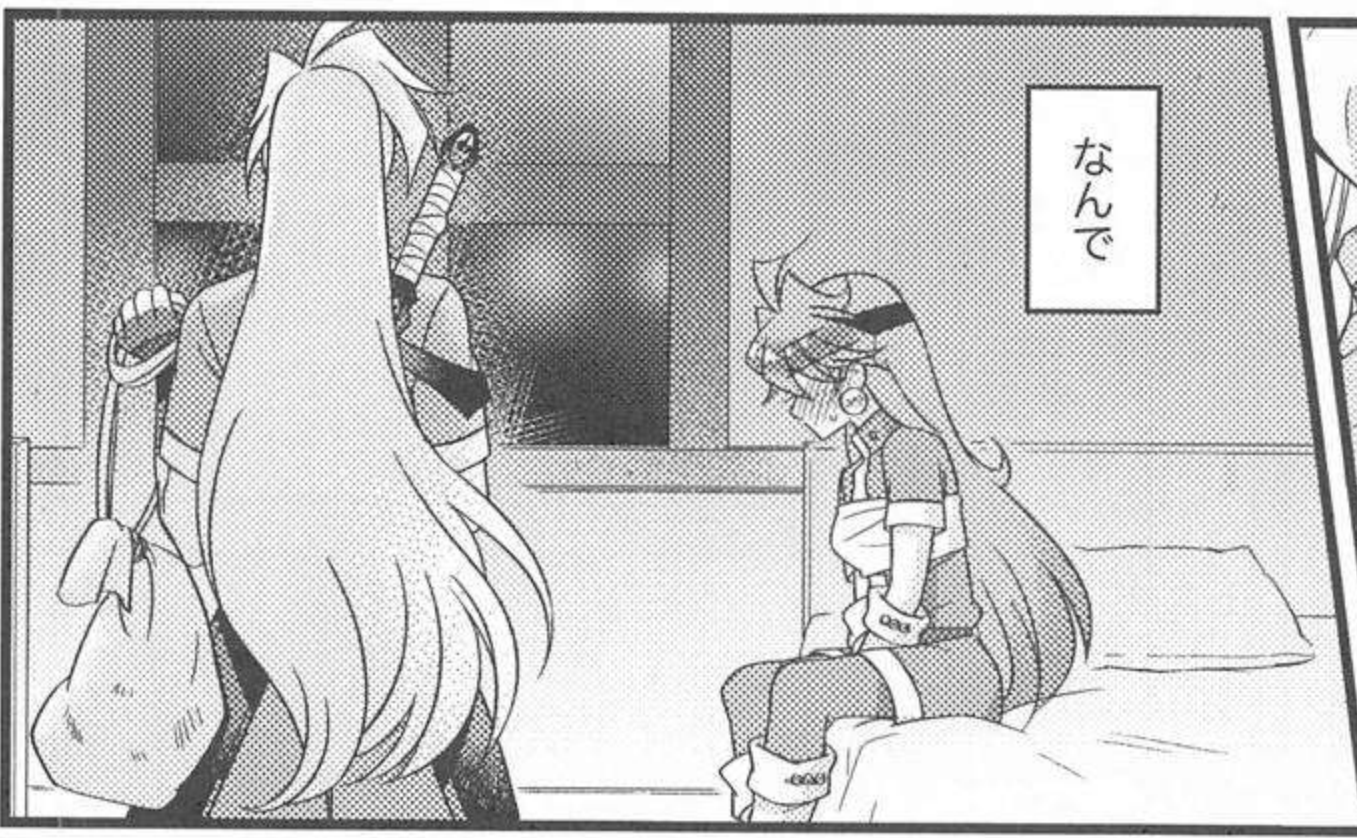
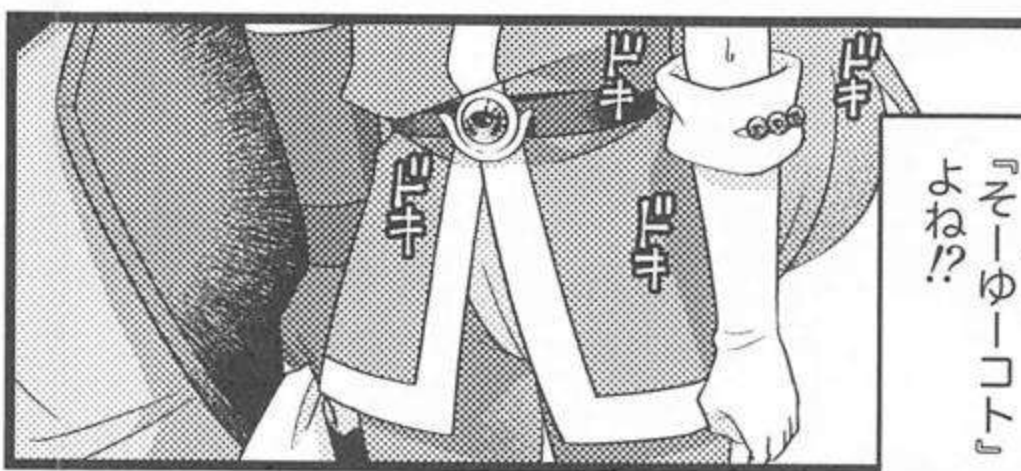
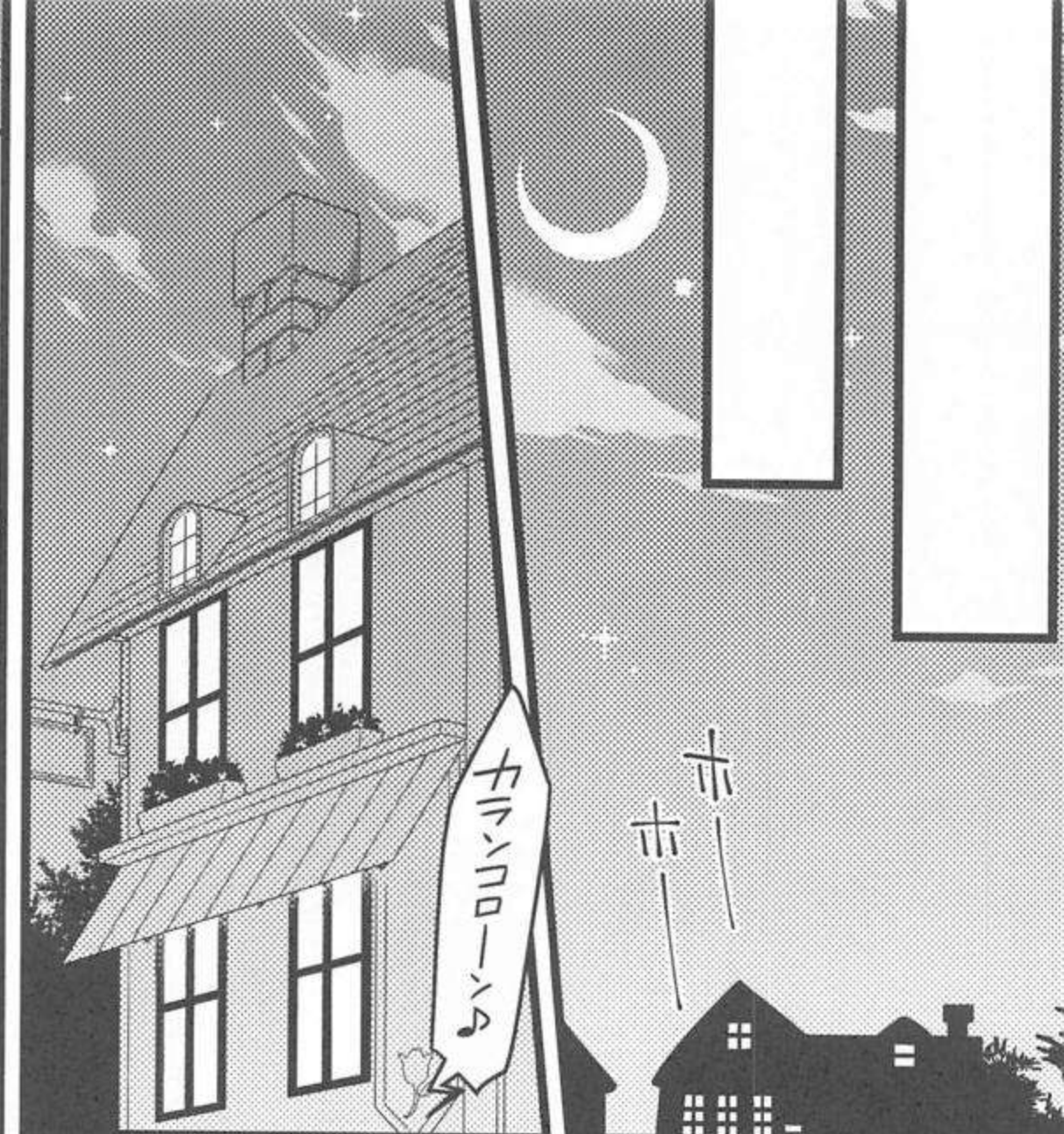


は…

はへ？



……
なありナ





リナ

ふえり!?



しみじみ
ゆーなっ

はて
はて

コドモだ
コドモだと
思ってたけど

いつの間にか
大人になって
たんだなあ…



『眠り』っっ!!!



え

あウツ
これってキー



なんで?

って何ホツと
してんのよ
あたしっ!!

嬉しく…
ないの…?



ホツ…

ガウリイに
いつか女として
見てほしいって

いつか
そういう関係に
なれたらって
思ってたハズ
だったのに

こんばんは
リナさん

か…帰って!!

コイツのせいで
おかしくなっ
ちゃったのよ

みっ
見てわかる
でしょ

あたし
今夜から
ガウリイと
一緒に部屋に
泊まるの

その意味…
わかるわよね?
邪魔しないで



へえく〜

あ、



なっ…
なんでよ!!

それでアンタに
なんのメリットが
あるってのよ!?



申し訳ないん
ですけど
リナさんの
ご意向は
聞いていない
んです

なあに
あなたはただ
気持ちよく
されちゃうだけで
いいんですから

余計なことは
考えず



僕に
身も心も預けて
しまわれるのが
賢明ですよ♪

ホロ!

何企んでんの?
今度はおたしを
何に利用しよう
ってわけ!?



ひどいなあ

僕はリナさんのご要望にお応えして身体の淋しさを埋めるべくお慰めしているだけです

んな要望誰がした誰がっ!!

ははは♡

こいつ…ム



何を企んでるですって?



何も企んでないってならアンタにはあたしに特に用事はないわけよね?

どこまでも喰えないヤツ

そーやって人をおちよくって

あたじが何言ったってヘラヘラ聞き流すだけなのよねアンタは

ならやっぱしもう来ないでいーわよアンタなんて必要ないから



あッ!!

コラッ!!

そーやってまたキスとかで誤魔化す気でしょアンタっ!

もうその手は食わないんだかね!!

コラッ!!

コラッ!!

コラッ!!





誰に？

アンタに傷付けられるのなんて魔王の腹心くらいでしょ

獣神官を…
辻斬り…？



お腹の穴から黒い砂が…流れ出て消えてってる

違いますよ

今朝方ちょっと辻斬り？ されてしまいました

アンタこれっ…大ケガなんじゃないのっ…！？

まさか今こうなったの！？



それは…秘密です

……



そんなことより身体にこんな穴開いてて大丈夫なわけ？

いやあ…見ての通りほっとくと滅んちやいますねえ

そうならないための方法があると言えはるんですが

何よ方法って

SEXです♥

あつ！
アンタ
ねえ！

本気で心配して
やっつんのに
そーゆー冗談
ゆーなっ！

じよ…冗談
ではなく…

あま

女性の魔道士さんは
子宮で魔力を
精製・貯蔵しています

そして僕は
^{アストラル}精神体：
すなわち体が
魔力で構成された
純魔族ですから
手っ取り早く
他者の魔力を奪えば
回復します

ですから

わかった

能書きはいいわ

なるほどね

つまり
アンタは
今日

ただ魔力が
欲しくて
あたしのとこに
来たってワケね

今回だけよ

でも…
それなら

今夜だけ
最後の
一回だけ…

さっさと
済ませて

そう これは
ゼロスが消滅しない
ために仕方なく
協力してあげる
だけだから

えっ!?

えっ...

...って何よ!?
っ...つまり
そーゆーこと
でしょ!?

あ...いえ
リナさんなら
『このあたしに弱みを
見せるなんて油断
したわね!』
とかおっしゃるか...

よしよし
獣神官
ツツ滅ぼす
ちやますあます
!!

余計なことっ...
言わなくて
いいから

うっさいかん
キリッ
イテテテ

こんなおかしいことは
今日で終わりにするのよ

フッ...

ちやます...

ちやます...



ねえ早く...

シタ方がいいんじゃないの？

ほっ

うんうん

ふふ

ふふ

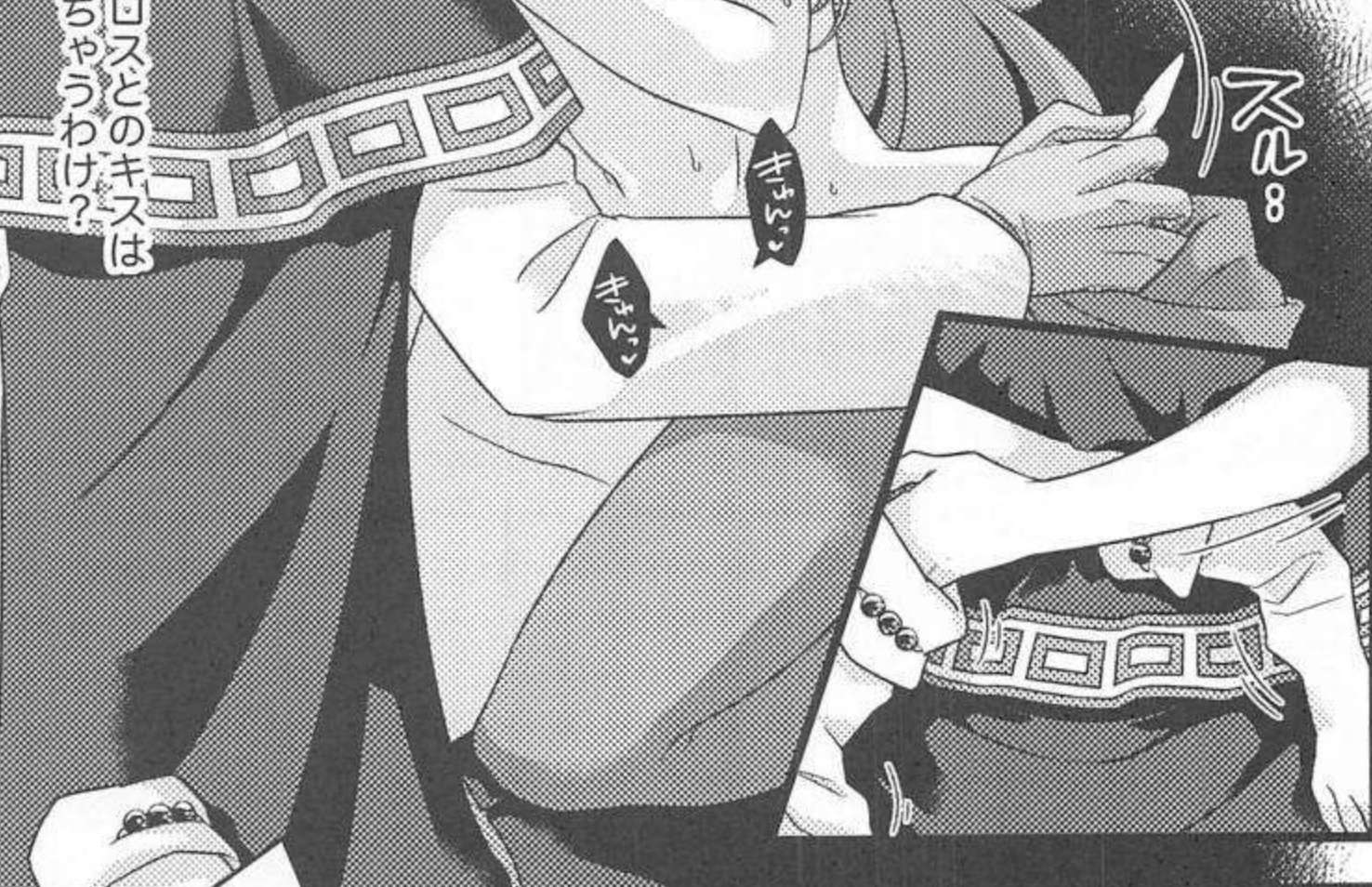
セロスとのキスはできちゃうわけ？

ズズ



そうですね...でも今あまり激しい動きができないので

リナさんがリードしてくださいなら...



！

うん...

改めてちゃんと見ると...なんてヒワイな形なの...っ

こ...こんなのがあたしの胸内に...

ぼるん

ん



うん...

しかたないわね...



す...



おいじだからっ…

はっ



だって

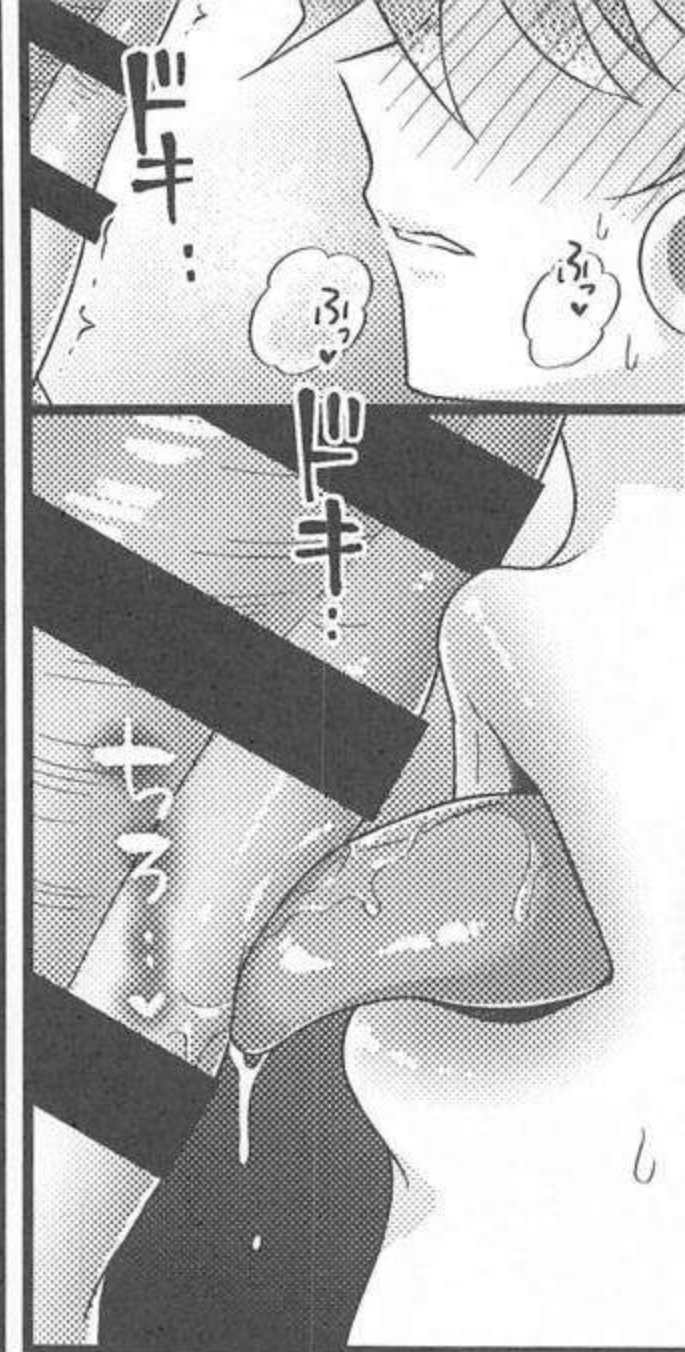
あたしが
キスしたいのは



りっ…

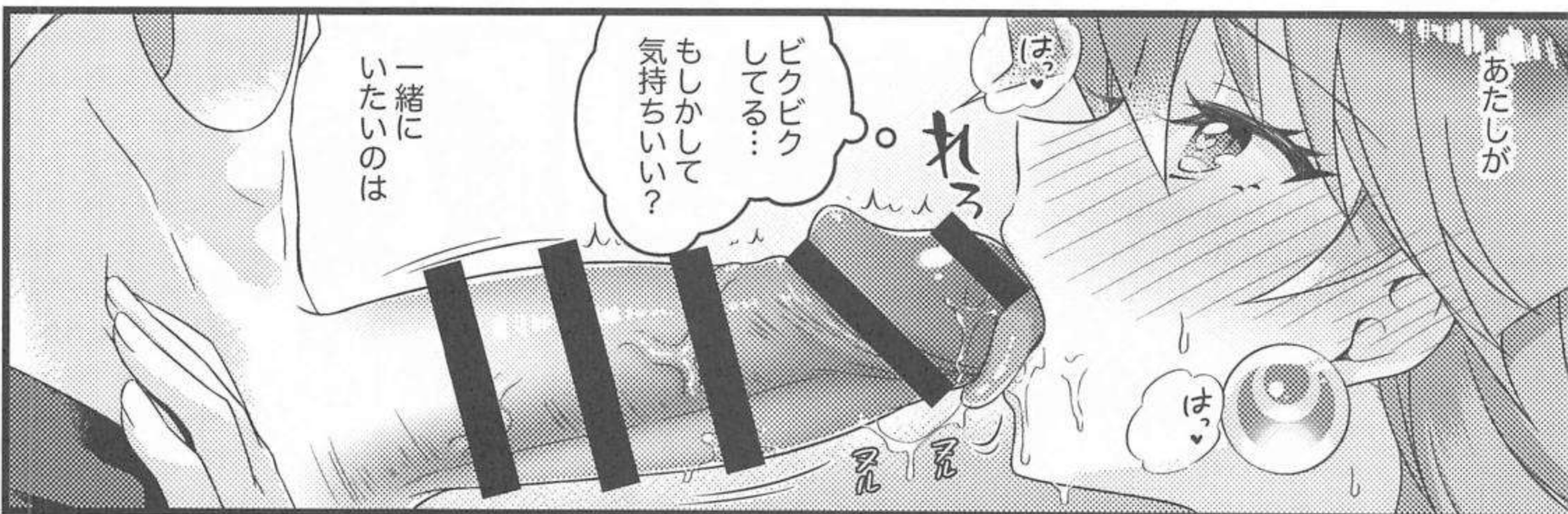
…ナさん
ちよっ…

今日が最後



ビキ…

ビキ…



あたしが

はっ

ビクビク
してる…
もしかして
気持ちいい？

れろ

一緒に
いたいのは



リナさんっ

ビキ…

ふぁ…♡

は

は



ん…



あたしが

好き…なのは…っ



も~~~~
 僕は魔族
 なんですから
 そんな風に
 愛おしげに
 舐められたら
 ダメージ受け
 ちやいますよう



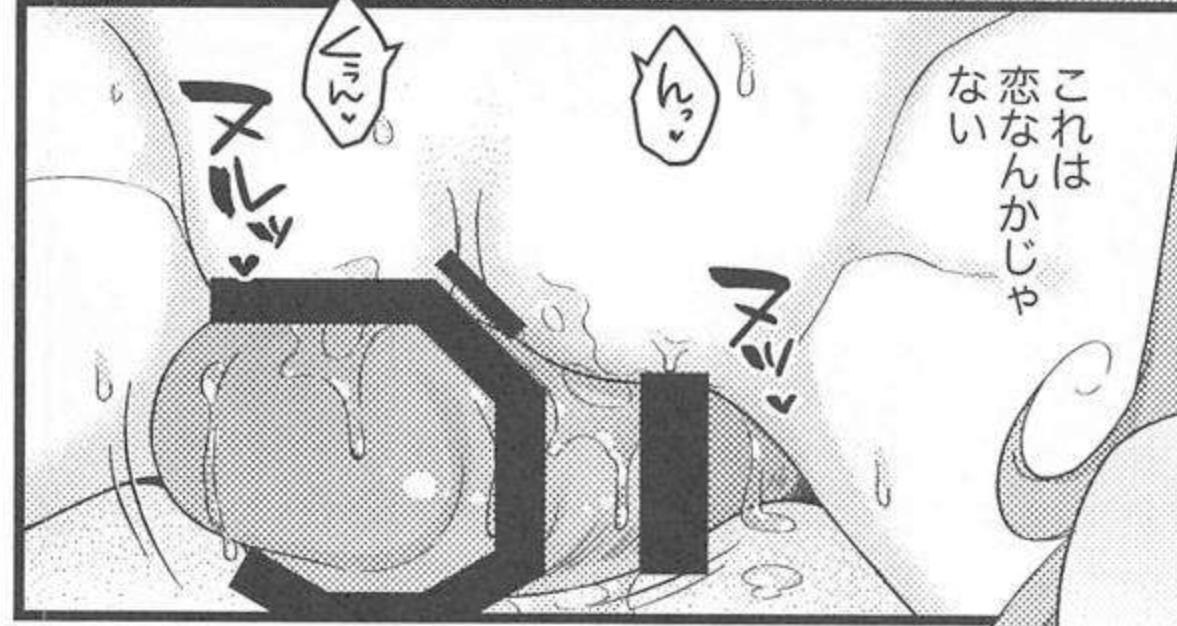
バカに
 しないで
 くれる?
 こんな腹に大穴開けて
 弱ってるアンタなんか
 倒して喜んでたら
 『魔を滅する者』の
 名がすたるってもんよ

わかって
 ます?
 今なら僕を
 滅ぼすチャンス
 なんですよ

……
 ねえリナさん

いつか
 全力のアンタと
 勝ってやるから





触つてないのに
すごいヌルヌル
ですね

リナさんの
ココロ♡

ゼロスには
感情なんて
ないし
あたしは
今回魔力を
ちびっと
分けてあげる
だけ

あはは...♡
あはは...♡
あはは...♡

これは
恋なんかじゃ
ない

ア...ンタのっ...
アンタのせい...
なんだからねっ...

どんなに
気持ちよくても

互いの利害が
合致したって
だけの

ただの
手続き

だから

身体の奥が
キユンキユン
しても

いい？ 今日
はアンタに魔力
くれてやるために
特別なんだから

えっちして
回復したら
帰ってよ

……
挿入れますよ

だから

でも
いいんですか？
リナさん

ガウリイさんが
すぐ隣にいるのに

こんなに
物欲しげに
僕のを
啜え込ん
じやったりして

ちゅ……

え
あ
ま
ま……

……

……



あたしの弱いところ
好きな動き

おあ...
セロスの動きが
好き...

もう全部セロスに
知られちゃってる

だめよ...
流されちゃ

いかな
リナさんの
『眠り』でも

あまり大きな声を
出されると
起きてしまわれる
かもしれませんよ





あぁ…♡

あぁ…♡

はぁ♡

だめっ…

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

声…っ
出しちゃ…

ムリっ…♡
我慢できないっ…♡

ゼロスの
おちんちん…♡♡
あたしの膣内^{ナカ}に
ピタリ
寄り添ってきて…♡

こんなに
きゆうきゆう
締め付けて…

ガウリイさん
のそばだと
興奮しますか？

やめてっ…
ガウリイのことは
言わないで

魔力の供給なら
他の場所であらう

やめません

何をそんなに
悩まれる
ことがある
んです？

あなたには
僕に必要な
んでしよう？

本当にやめて
欲しいなら

いつものように
攻撃呪文を
叩き込まれれば
いいじゃないですか

……

ホントは
とつくに
わかってた

あなたに
滅ぼされない限り
これからも僕は毎晩
あなたを犯しに
来ますよ

今後あなたが
他の誰と結ばれ
幸せになろうとも

頭で「ダメだ」って
「忘れるんだ」って
何度
言い聞かせても

交わることを
必死に正当化してまで
ゼロスを受け入れ
てしまう理由

キーン

キーン

クワ

クワ

ギャッ

いいわよ

それならアンタが音を上げるまで付き合っただけやろうじゃない

コイツが何を企んでるのかとか考えたところで

わからないものはどうにもならない

アンタが毎晩あたしを犯して負の感情でオモチャにするってなら

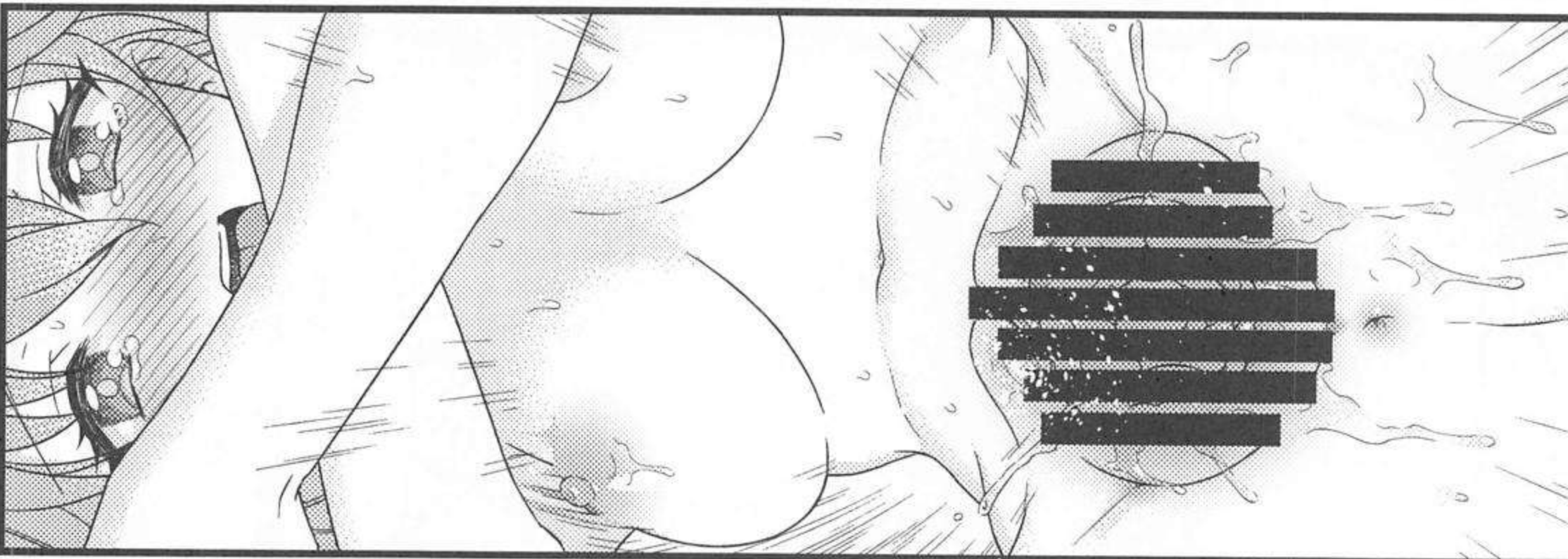
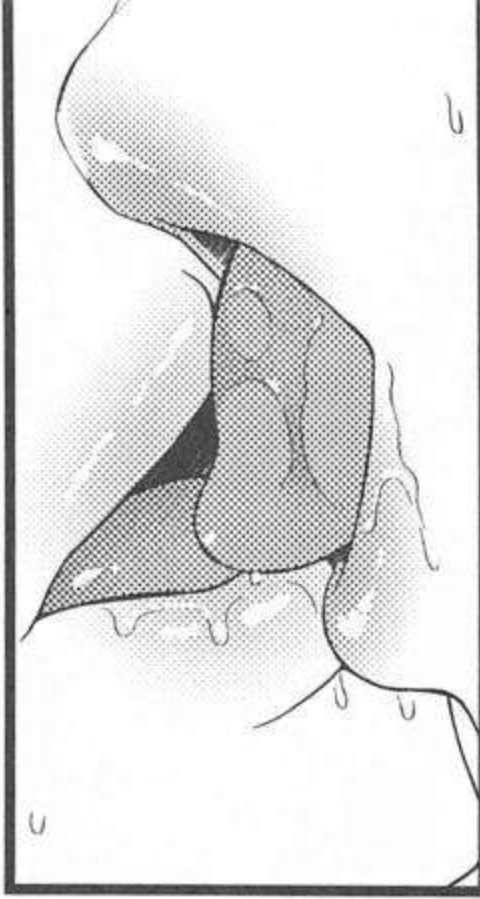
あたしは毎晩さつきみたいになんかアンタが大嫌いな正の感情で包み込んで苦しめてやるわ

そんなことより確かなものは

リナさんすみませんでした僕が悪かったですって泣いて命乞いしても許してやらない

どっちが先に降参するか勝負よゼロス

一生あたしの最高の敵を務めあげる覚悟は出来てるんでしょうね





ガッ
ガッ
ガッ

ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

臍内に射しますよっ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ

え 待って 射すって 魔力っ...!

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

…ふえ？

あ…アంత
射して大丈夫
なの…？

あ…アంత
射して大丈夫
なの…？



おや

僕のこと
心配して
くださっ
てるん
です
か？

今ので子宮から
直接魔力頂け
ましたし

負の感情も
おろかす
です

動ける程度には
回復しました♡



でももう少し
リナさんを
喰べたいので…

よろしよ♡

え…えあつ？

いまっ…
動いちゃ…



で
僕がリナさんに
泣いて命乞いする
—ですって？

甘いですよ

あなたの
弱点
僕は全部
知ってるん
ですから♡



あなた…♡



じゃあ
よく見える
ようにして
あげますね

ガウリイ...
ごめん

あたし...

やっぱり
ガウリイさんが
気になりますか

キーン...

ガッ...

キーン

キーン

キーン

ほらこれなら
結合部も
パッチリ
丸見えですよ

ざわ

ゆ

ゆ

ざわ

その浅いとこっ…
コリコリされる
とっ…

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

魔族に犯されて
こんなに悦んで
涎れを垂らしている
リナさんの大事な
ところが♡

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



大好きな彼に見せてあげましょうね

好きでもない魔族に毎晩犯されて

ほら魔族チンポでイッてください

抗えない肉欲に溺れてあられもなくイッてるリナさんの姿を

んんん!!

んんん!!

♡♡

んんん!!

ぽたぽた

んんん!!





ふっ……
アンタも
まだまだね



おや
バレて
ましたか……

慣れないことは
するもんじゃ
ないですねえ
ホントまだまだね
甘く見てるのは
アンタの方よ



あたしの弱点
攻めたつもりで
しょーけど
そんなわざとらしい
言葉責めじゃ
逆に負の感情
搾り取れないわよ



今度は
あたしの番よ

弱り切った
アンタの魔力
搾り取って
やるから

せいせい
滅びないように
気合を入れて
おくことね



ええ
もちろん



だってこの勝負
始まった瞬間から
もうあたしが
勝ってるんだもの

キーン
キーン
キーン

ズン
ズン
ズン

ギン
ギン
ギン

尚様、あす様、momogan様、カセイ様、saga様、かなりあ様、月見草様、菜々様、琥珀様、あつぷる様、あすか様、まそ様、レイン様、rose様、na23can様、ユーレ様、山ぶ様

本書はファンの趣味による非公式なパロディ創作物であり、原作者様・出版社・アニメ制作会社とは一切関係ありません。本書の無断複製(コピー・スキャン・デジタル化)並びに無断複製物の譲渡および配信(WEBへのアップロード等)は厳禁です。また、本書のフリマサイト・ネットオークション等での転売は固くお断りいたします。



SLAYERS XELLOSS x LINA FANBOOK #5
リナ=イ●バース
獣神官にNTR完墮ち

発行日：2020年8月30日
発行者：kozakoza(海パン)
連絡先：satoashu@gmail.com
印刷所：サンライズパブリケーション(株)
表紙デザイン&お手伝い：荒井Rさん(@ARAI_12)



2020 AUGUST

KOZAKOZA PRESENTS

リナ=イ●バース獣神宮にNTR完墮ち